

## 里沼の風景 音楽で表現

### 館林

館林市の日本遺産、里沼をテーマに近郊の音楽家による「里沼音楽会」が3日、市内のレストランで開かれた。同市堀工町のフルート奏者、滝沢昌之さんら4人の演奏に来場者70人が聞き入った。

写真。

滝沢さんと妻の市川美樹子さん（フルート）、同市の西川友唯さん（ソプラノ）、板倉町出身の横塚優美さん（ピアノ）が出演した。

2年前に市内に移住した滝沢さんが「茂林寺沼の景色を見て連想した」という、ドビュッシーのフルート曲「シランクス」などを演奏。初代館林藩主、榊原康政の側室、お辻が城沼に入水したという伝説を元に作詞作曲した歌曲「躑ヶ崎の丘に立ち」を初披露し、会場から拍手が送られた。音楽会は地元の音楽家の演奏に親



しんでもらおと、滝沢さんらが開いた。  
(正田哲雄)